

富谷市内で養蜂などを手がけるNPO法人SCRが蜂に語呂を合わせた令和5年4月8日に、市内産の蜂蜜と県内石巻市産のホップを惜しみなく使用した発泡酒「富谷はちみつエール」の販売を開始した。

富谷はちみつエール



原料となる蜂蜜は、完熟したフルーツを思わせる甘さが特徴だ。同市では、蜂蜜の特産化を図るため、平成29年に「とみやはちみつプロジェクト推進協議会」を発足。毎年5月から7月にかけて、市役所屋上で採蜜を行っている。

採蜜の様子



醸造は、宮城県石巻市でホップの栽培やクラフトビール醸造を手掛ける一般社団法人イシノマキ・ファームが受託している。

黄金色に輝くこのお酒は、ホップの苦みとはちみつのまろやかさが感じられ、飲みやすい味わいが特徴だ。

容量は330mlの瓶入りで価格は830円（税込）。市の観光交流ステーション「とみやど」ほか市内2ヵ所で販売される。

富谷はちみつエールと市内産はちみつ



【記事提供】富谷市農業委員会